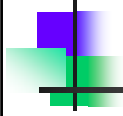
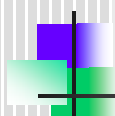




SOA実現に向けた ビジネス戦略からつなぐアーキテクチャ設計 ～ フラワーアレンジ販売のインターネット出店をモデルとして



XMLコンソーシアムWeek 2008年6月4日
関西部会
コベルコシステム株式会社 幸田 健



はじめに

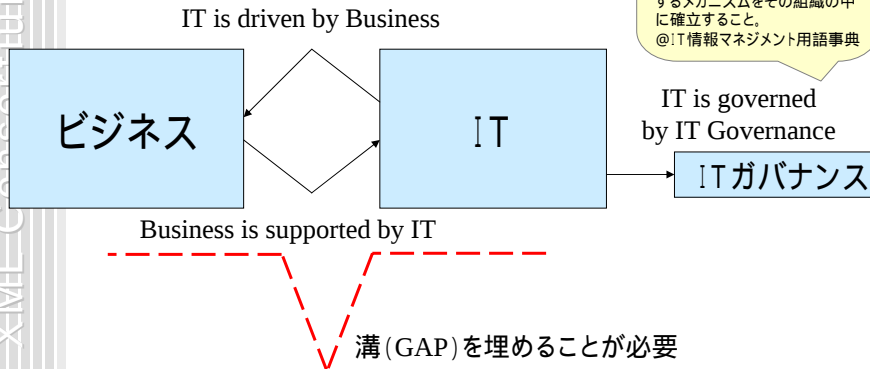


- 目的
 - SOAへ向けたサービス設計を行う上で、ビジネス戦略に近い上流からのモデリングを体験し、そのノウハウを習得する
→ 提案力アップ、ユーザ企業とのシステム化戦略立案に役立てたい
- 活動期間
 - 2007年6月～2008年5月
- 実施項目
 - ビジネスモデルの作成
フラワーアレンジ販売のインターネット新規出店をシナリオとしてビジネスモデリングを行う
 - 各種方法論を用いたビジネス目標の策定
 - ビジネス・プロセス・モデリング
 - ITアーキテクチャ設計
 - 4 + 1ビューモデル導出されたITアーキテクチャを用い、関西部会の別プロジェクトで実装を行う

ビジネスとITの関係



■ ビジネスとITの間のGAPを埋めるためには？

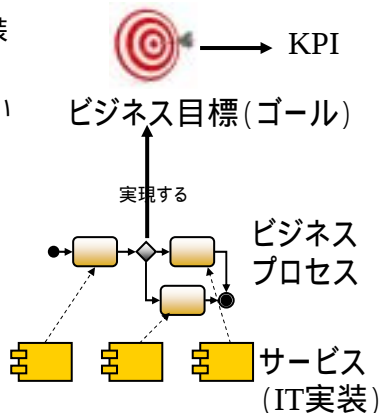


ITガバナンス
ITを導入・活用するにあたり、
目的と戦略や適切に設定し、
その効果やリスクを測定・評価
して、理想とするIT活用を実現
するメカニズムをその組織の中
に確立すること。
@IT情報マネジメント用語事典

ビジネスとITのGAPを埋めるために



- 上流からのモデリング
(トップダウンアプローチ)
 - ビジネス目標(ゴール)に合致したITの実装が必要
 - トレーサビリティ(追跡可能性)
「ビジネス目標を満たすITの実装になっている」
 - アカウンタビリティ(説明責任)
利害関係者への説明責任
「なぜそういう実装になったのか」
 - 継続的改善(BPM)
- SOAでのサービス設計の観点
 - ビジネス目標とビジネスプロセスとのトレーサビリティ
 - ビジネスプロセスのタスク サービス(IT実装のインタフェース)
 - 最終的にビジネス目標からIT実装(アプリケーション)までのトレーサビリティが必要



ビジネス・シナリオ



- ビジネス・シナリオ
 - 新規にフラワーアレンジ販売のビジネスを立ち上げる
 - 販売方法
 - ネット販売のみ
 - 予約販売、定期注文が可能。場所により当日注文可能
 - 社員:5名 少ないが常勤
 - 優秀なアレンジ能力をもつ社員がいる
 - フラワーアレンジメント業界に多くのコネがある
 - システムの知識に強い社員がいる
- 各種条件
 - アレンジメント主体
 - 花、鉢植え単体の販売はなし
 - 農家と直接契約→農協から買い付け
 - いつでも全商品・在庫
 - レコメンデーション
 - 状況に応じて、アレンジを推奨してくれる機能
 - 感覚的なイメージでアレンジメント可能な受注システムの提供
 - 「もっと豪華に」「もっと安く」など
 - 受注量に応じて、フラワーアレンジャーを追加
 - 将来的にアウトソーシングも検討

ビジネスモデルの策定



- ビジネス戦略からビジネスプロセスモデルを策定
 - いくつかのビジネス分析手法(フレームワーク)を利用して、ビジネス目標(ゴール)、ビジネスプロセスモデルを導き出す
 - 3C分析
 - SWOT分析
 - ゴール分析モデル
 - 組織モデル(社内、社外関連)
 - ビジネスプロセス(BPMN)





ビジョン・ミッション・コアバリューの策定



■ ビジョンの策定 (基本目標)

- 固定客を確実に増やす
- 1年後には利益をだす

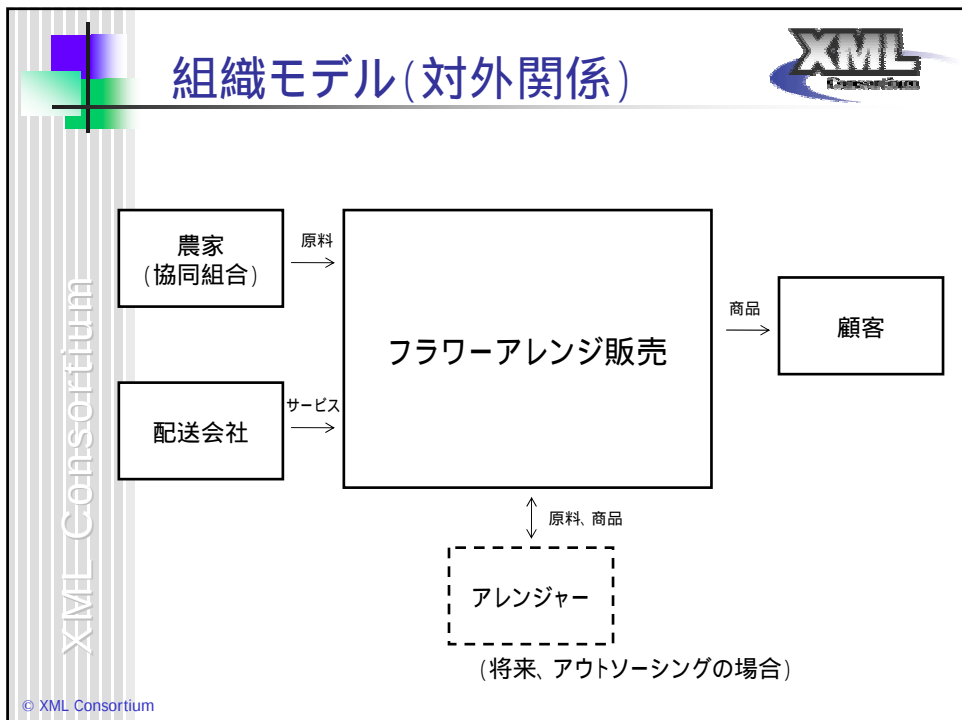
■ ミッション

- お客さまの気持ちにマッチする花をお届けすることで、多くの人々の暮らしを豊かにすることに貢献する。
- キーワード "For your Beautiful Life."

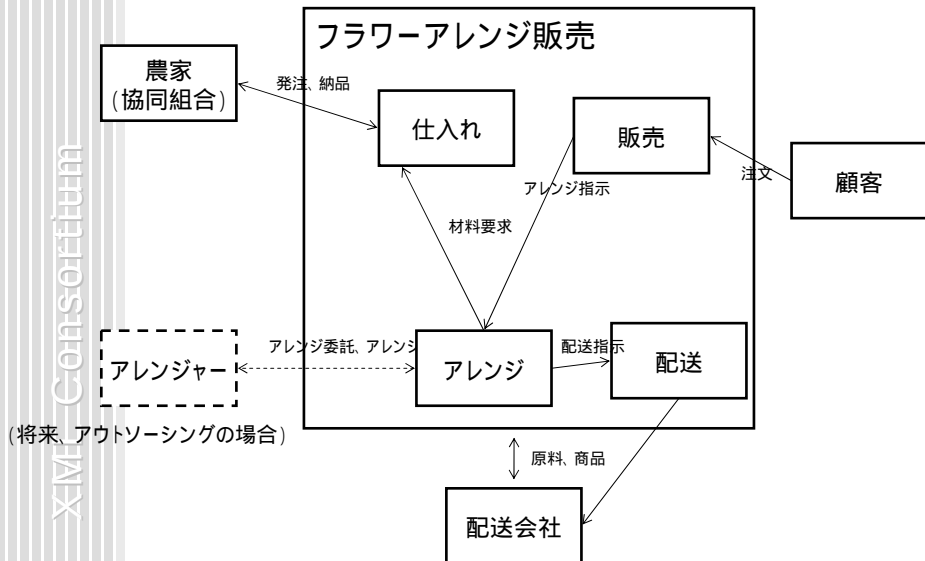
■ 本質的価値 (コアバリュー)

- お客様の感覚にあわせた柔軟なアレンジメントが可能

© XML Consortium



組織モデル(内部関連)

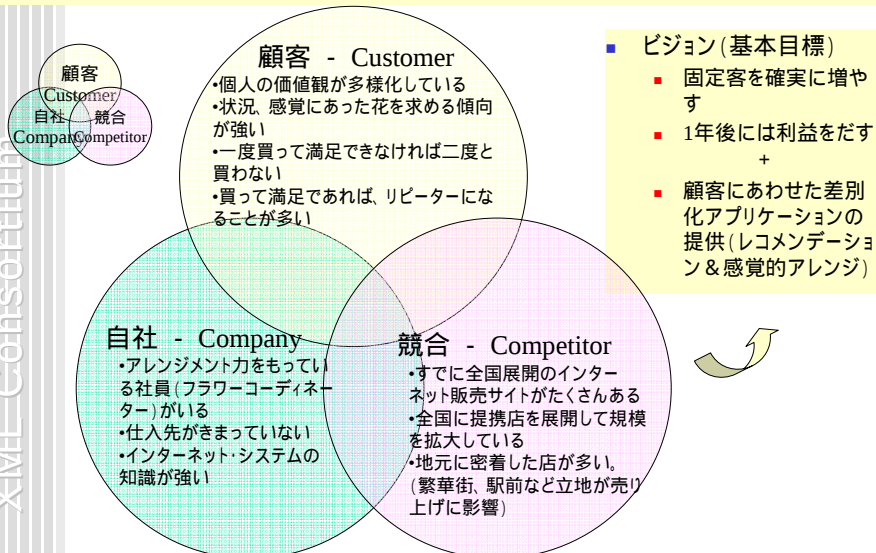


© XML Consortium

3C分析



3C分析により自社・顧客・競合を分析し、ビジネス環境を把握し、ビジョンを導出・調整する



© XML Consortium

SWOT分析(クロス分析)



SWOT分析により強み・弱み・機会・脅威を分析し、さらにクロス分析により戦略・施策を策定

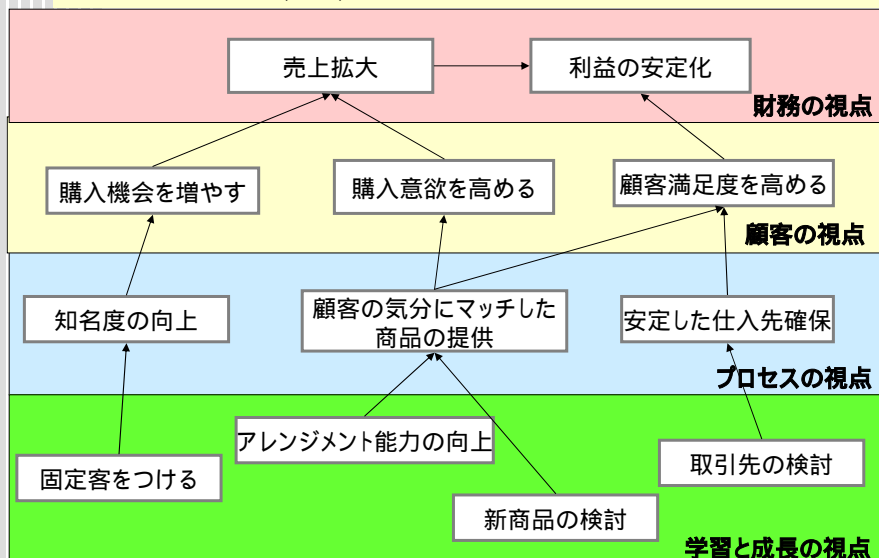
SWOT分析

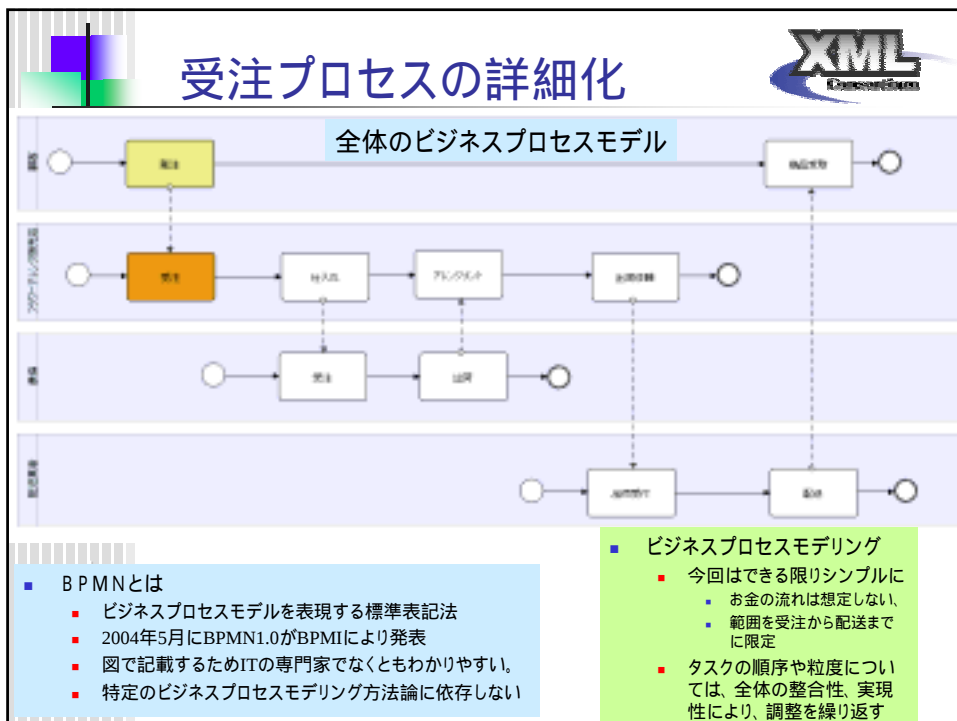
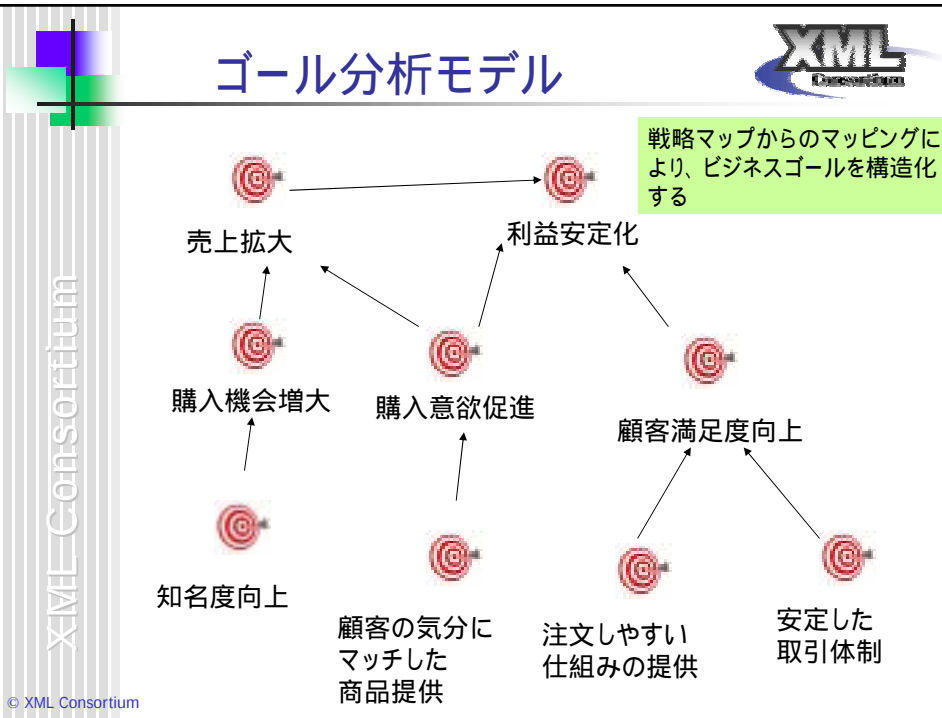
外部環境分析	
(3) 機会 (Opportunity)	(4) 脅威 (Threat)
- 個人の価値観が多様化しており、状況、感覚にあった花を求める傾向が強い - インターネットでの購買が増加している	全国展開のインターネット販売サイトが既にたくさんある
(1) 強み (Strength)	積極的攻勢
- 優秀なアレンジ能力 (どんなアレンジも可能) をもつ社員がいる - システムの知識が強い - 多くのフラワーデザイナーへのコネがある	- 独創的なアレンジを提供する。 - システム知識を生かした充実したインターネットサイトの構築が可能 (アレンジスキルレベルの組み込み)
(2) 弱み (Weakness)	段階的施策
- 顧客まだない - 仕入先が見つかっていない - 知名度なし	- まずは売り上げ実績をあげ、固定客をつける必要あり - 知名度の向上 (広告、日々サンプルを増やす、デザイナーのアレンジ紹介の掲載、ポイント制、メルマガ、購入履歴のアレンジも参照可能)
自社分析	差別化戦略
	- さまざまな価値観にあった柔軟な商品の提供 - 希望の花を選択できて、それにあうアレンジがアドバイスされる。 - おもしろ注文 (様々なバリエーションの注文) がある。(感覚、花言葉から選択)
	専守防衛または撤退
	- 安定した仕入先の確保・確立 - 顧客の確保 - 優秀な人材 (アレンジメント) の確保 - アレンジバリエーションの拡大

戦略マップ

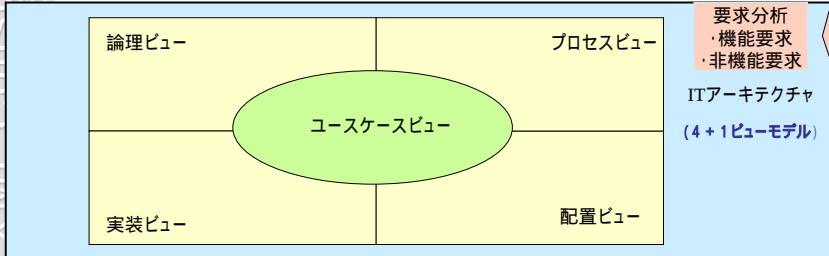
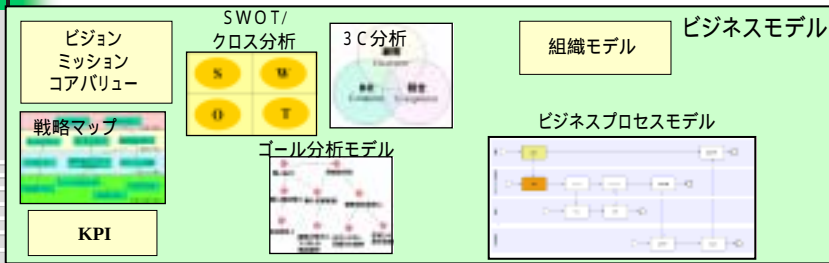


バランススコアカード(BSC)の戦略マップの4つの視点を用いて戦略目標を明確化する





ビジネスモデルから ITアーキテクチャを導出

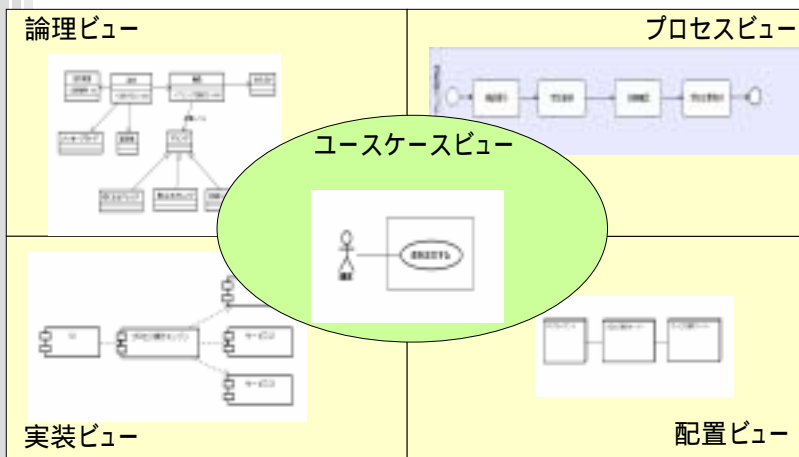


© XML Consortium

4 + 1 ビューモデル



RUP (Rational Unified Process) では、開発プロセスに關与する特定の利害関係者 (例えば、ユーザー、設計者、管理者、開発者、運用管理者など) がシステムに対して持っている各自の関心事項を扱うために「ビュー」を定義し、それらを総称して、「アーキテクチャー・ビュー」と呼ぶ (RUPより引用)



© XML Consortium

ユースケースビュー

XML Consortium

- ユースケースビュー
 - ユースケース図
 - 今回はシステム化範囲を限定する

ユースケースとは
 ・システムへの要求をモデル化したもの
 ・システムが果たす機能をユーザーレベルで記述したもの
 システムへの『機能要求』

© XML Consortium

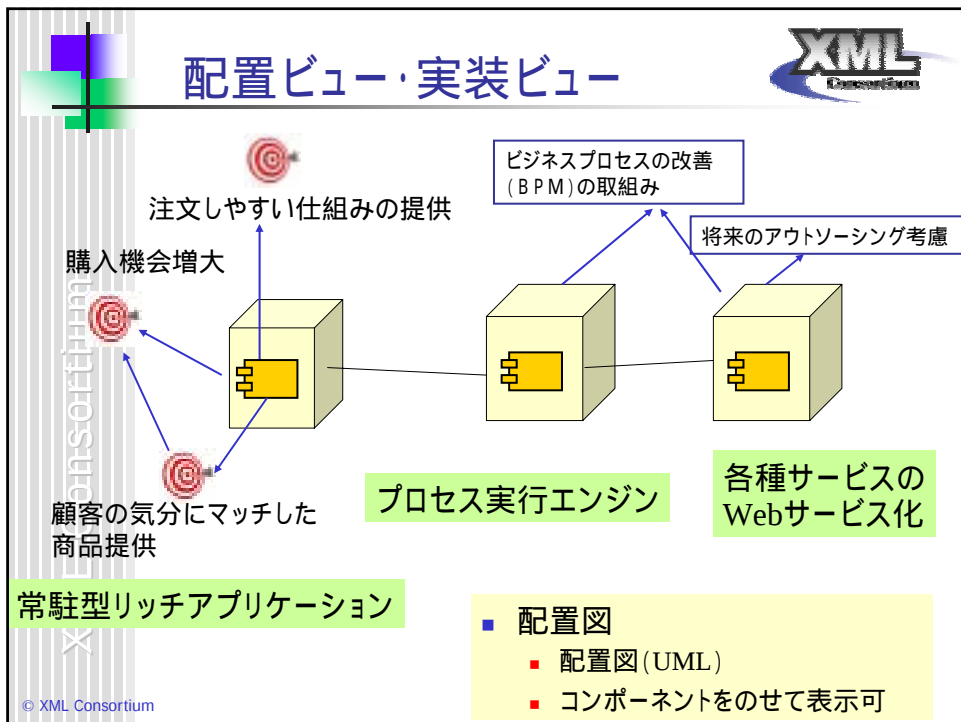
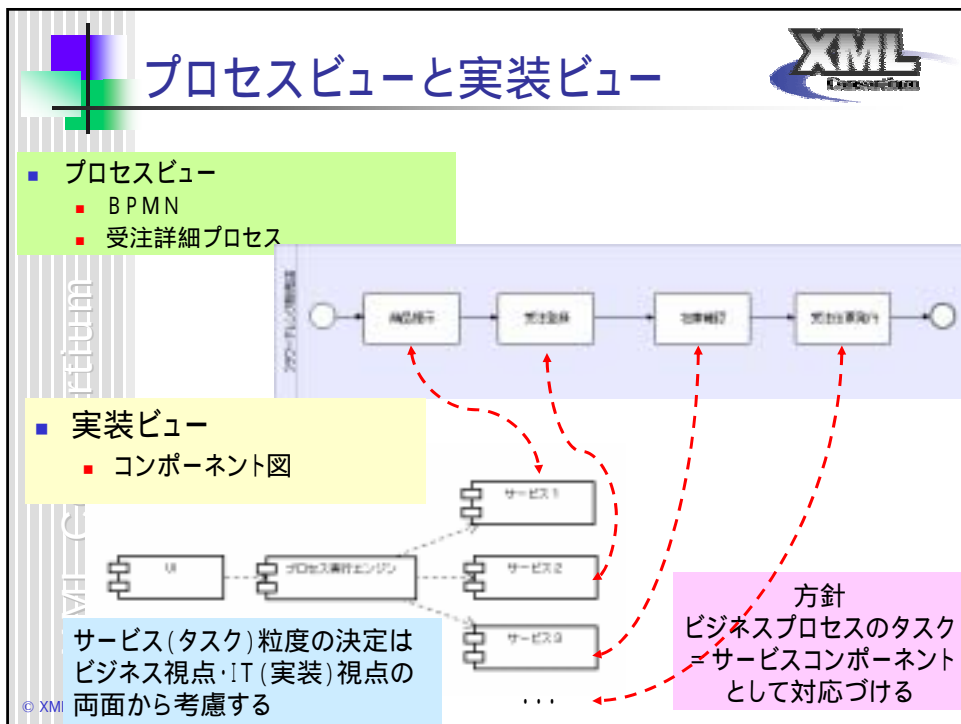
全体のユースケース・モデル

受注プロセスの詳細化

XML Consortium

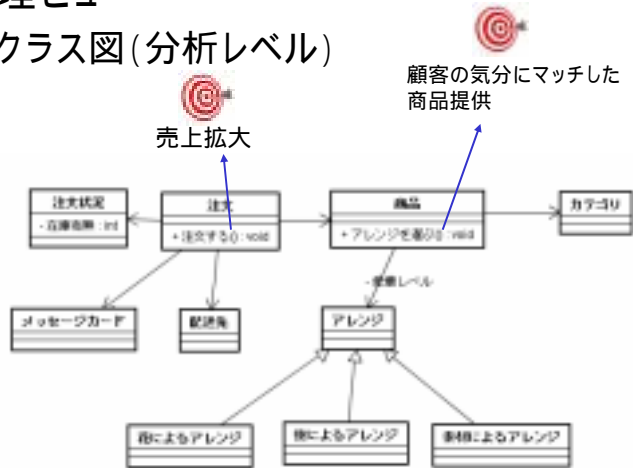
今回のシステム化範囲
ユースケース「花を注文する」

© XML Consortium



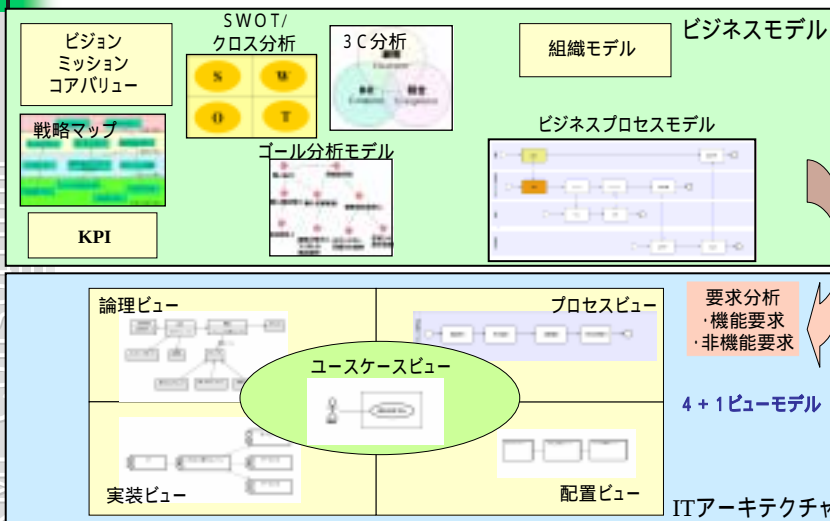
■ 論理ビュー

■ クラス図(分析レベル)

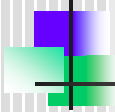


© XML Consortium

ビジネスモデルから ITアーキテクチャを導出



© XML Consortium



まとめ(1)



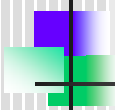
- 各種方法論により策定したビジネス目標・ビジネスプロセスとのトレーサビリティを意識して、ITアーキテクチャ(4+1ビューモデル)を導出した
- 有効な点:
 - ダイアグラム(UML、BPMN)に、ビジネス目標とのトレーサビリティを直接書き込むことで、「なぜそういう設計になるか(Why)」を見える化し、利害関係者全員が整合性を理解できる



まとめ(2)



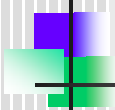
- ITアーキテクチャ設計・サービス設計は、イテレーション(繰り返し改善)が重要
- 苦労した点:
 - タスク・サービス・クラスなどの名前規則・粒度・順序・関係性などの決定は、何度も繰り返し調整することが必要
 - 後工程の設計・実装レベルのモデリングまで落とした上で、不整合部分を上流にフィードバックし、繰り返し調整しないと「使える」モデルにならない
- 課題:
 - 様々な要求(機能要求・非機能要求)をどう設計に反映するか
 - ITアーキテクチャ設計・サービス設計におけるパターン(リファレンスアーキテクチャなど)の整理と理解が必要



参考資料



- XMLコンソーシアム SOA/BI研究部会 発表資料
- 戦略マップによるビジネスモデリング
(2007 翔泳社、羽生田、内田 著)
- @IT連載: 実践! UMLビジネスモデリング
<http://www.atmarkit.co.jp/im/carc/serial/bmodel/01/01.html>
- IT アーキテクチャメタモデルセマンティクス解説
http://www.ipa.go.jp/jinzai/itss/activity/ITA/2006/ITA_MMS_guide2006.pdf
(ITスキル標準 V2 2006
プロフェッショナルコミュニティITアーキテクト委員会)
- ラショナル統一プロセス入門
(2004 アスキー、第3版、Kruchten著, 藤井 訳)



参考: モデリングツール



- UMLモデリング
 - JUDE/Community (チェンジビジョン社)
 - <https://jude.change-vision.com/jude-web/index.html>
- BPMNモデリング
 - Eclipse 3.2 (europa)
 - <http://www.eclipse.org/>
 - Eclipse STP (SOA Tools Platform) plug-in
 - <http://www.eclipse.org/stp/>